

平成22年度の 事業計画と 予算



3月26日に開催された第14回評議員会

「住み慣れた地域で、 安心して、自分らしく暮らす」ために…

宍粟市社会福祉協議会では、3月26日の第14回評議員会において、平成22年度事業計画ならびに予算を可決しました。22年度事業計画からいくつかを抜粋し掲載します。また、一般会計予算をお知らせします。

地域福祉の総合的な 推進のために

○3年間推進してきた第1次地域福祉推進計画の評価をもとに、第2次地域福祉推進計画の策定準備を進めます。

○2009年8月台風9号豪雨災害での災害ボランティアセンター運営の経験をもとに、災害救援マニュアルの見直し(更新)を進めます。

○宍粟市の地域福祉活動について、現状を確認し、これからのあり方を考えるために、福祉関係者や多くの市民のみなさんに参加いただく、「第3回地域福祉のつづき」を開催します。

病院ボランティア 活動の推進のために

○21年度に調整を行ってきた病院ボランティアが、5月からスタートします。この取り組みを一層充実したものにするため、ボランティアとボランティアを受け入れる宍粟総合病院の両方に支援を行います。

健全な福祉・介護事業 推進のために

○介護サービスの安定的な提供を行うため、支部ごとに取り組んでいる4つの訪問介護(ホームヘルプサービス)事業所を南部と北部の2か所に統合し、効率的な運営と健全経営をめざします。

○宍粟での介護人材の育成は社協の使命として、ケアワーカーの確保と質的向上のため、21年度に引き

続き介護員養成研修に取り組みます。

地域福祉事業の さらなる推進のために

○自治会福祉連絡会を中心に年間の活動計画を立てていただき、小地域福祉活動の実践を継続して推進します。小地域福祉活動を通じて地域福祉人材の発掘・育成なども積極的に行い、福祉のまちづくりと地域福祉の発展をめざします。

○福祉サービスの利用が困難な方や地域での生活に不安をかかえる方などに対し、相談体制の充実を図るとともに福祉サービス利用援助事業(日常生活自立支援事業)の利用をすすめる、虐待や悪質商法など権利侵害行為の早期発見など権利擁護活動を積極的に展開します。